

かほく市立高松中学校 学校便り

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

さわやか



令和6年4月11日発行

□ 「共に高めあう学校をめざして」「上下一心」

校長 塚田 秀和

令和6年能登半島地震において、被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災された皆様が一日も早く元の生活に戻ることができますよう、心より願っております。

さて、校長を拝命し2年目を迎えました。昨年5月に感染症対策が緩和されたものの、7月には線状降水帯の発生による水害の発生、元日の能登半島地震と予測不可能な事態が続き、「あたりまえの大切さ」を改めて感じることとなりました。今年度も「あたりまえの教育活動」を粛々と進めて参ります。

さて、4月8日(月)に85名の新入生を迎え、2年生83名、3年生83名、生徒数251名、11学級で令和6年度の高松中学校がスタートしました。入学式では、緊張した中、新入生が「よろしくお祈りします」の気持ちを込めた「はい」の返事がとても素敵でした。

令和6年度の学校経営ビジョンは「共に高め合う学校」です。「共に高め合う学校」の姿を、生徒が行きたくなる学校、保護者が通わせたい学校、教師にとっても働きがいのある学校と掲げ、本校全職員が一丸となって保護者の皆様からお預かりした大切なお子様の教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

11日(木)、全校集会での話です。

今月のキーワードは「上下一心(しょうかいっしん)」です。「上下一心」という言葉は、身分や地位を問わず団結すること。地位が上にある者も、その下に就く者も、皆が心をつにして事に当たれば、困難を乗り越えられるという意味です。

この言葉を学校の活動に置き換えると、クラスや学年をもちろん、学年を超えて編成される部活動、委員会活動なども、皆が協力し合って助け合って、目標に向かって努力することで、より大きな成果を得ることができるということになります。12日(金)から授業開始に向け、係、委員会などの組織が決まり準備が整いました。4月のうちに高松中学校の生活や、学習のルールを確実に実行し、進めていきたいですね。

□ 吹奏楽部「さくら祭り」に出演

かほく市「桜まつり」において、吹奏楽部がステージを務めました。今年のコンクールで演奏する「アメリカン ウェイ マーチ」から始まり、全4曲を披露しました。4曲目は東日本大震災の復興に向けて制作されたチャリティーソング「花は咲く」でした。能登半島地震被災者のことを想い、特に心を込めて演奏しました。会場の方々から笑顔で、大きな拍手を送っていただきました。地域に出て、日頃の成果を発表することがあることに感謝します。



□ 4月8日(月) 入学式

暖かな春の日差しの中、85名の新入生を迎え、無事に令和6年度入学式を挙行することができました。式では新しい制服を身にまとった1年生が「よろしくお願ひします」の気持ちを込めた返事を聞かせてくれました。校長先生は式辞の中で「『しっかり学び、よく考える生徒になってほしい』と一つお願ひをしました。しっかり学んで身に付けた学力は、何より自分で考え、判断する力の根拠になるからです。」とお話をされました。

在校生を代表して、生徒会長の森 優次 さん(3の3)が、本校伝統三項目(あいさつ、校歌、清掃)の紹介と「不安なことや心配なことは先輩に頼ってほしい、一緒に最高の中学校生活をつくりあげましょう」と歓迎の言葉を述べました。続いて、大多 潤さん(1の2)が「中学校生活で経験するどんなことの中にも意味があると考え、多くのことに挑戦し、実りある中学校生活を送ります」と新入生を代表して誓いの言葉を述べました。



「新入生誓いの言葉
大多 潤 さん

「歓迎の言葉」
森 優次 さん



□ 「校訓」「校章」について ～1年の始まりにあたり～

《校訓》「責任を果たせ 自主・協同・奉仕」

本校は、今年度創立78年目を迎えます。校訓とは、創立以来70年以上に渡って、卒業生や先生たちが大切にしてきた言葉です。学年が上がるにつれて、責任を負うことが多くなりますが、「人への思いやりを大切に、自分の役割を自覚して、心を合わせて目標に向かって進んでいく」ことを意味しています。



《校章》の由来

初めて記録に登場した「高松」は道興(どうこう)が記した「廻国雑記(かいこくざっき)」という旅日記です。道興は、1486年の6月に北陸から関東、奥州松島まで巡った旅の道中で、目に映った物や、その時の想いを「廻国雑記」にまとめました。その中に、高松について記されている文章があります。

おなし国高松といへる所に行き暮れて
煙のたつをなかめやりて、
すむ人の たのお木陰や それならむ
烟(けぶり)に暮るる 高松の里



当時の高松は人家もまばらな寒村だったようですが、「廻国雑記」の中にある、古くから住民に親しまれた「松」にちなんで、松の緑、松葉を図案化したものです。松の木は、粘りがあって強度や耐久性に優れているのが特徴です。そこで、どんな苦境にも耐え抜く人間像の象徴との願ひを込めて制作されました。

1年の始まりにあたり、「校訓」「校章」に込められた先輩方や地域の方々の想ひを感じてほしいと思います。(参考文献 高松町史 自然・歴史・文化 たかまつの礎 2004.2 高松町)

□ 令和6年度 教職員紹介

校長	塚田 秀和	教頭	中野 直美 (理)		
1年生		2年生		3年生	
1組担任	櫻井 千明 (社)	1組担任	政近 顕純 (理)	1組担任	北野 瑞季 (数)
2組担任	北村 菜月 (英)	2組担任	地藤 璃紅 (英)	2組担任	上谷 由喜 (英)
3組担任	石垣 孝明 (体)	3組担任	瀧本アンナ (国)	3組担任	安原 広樹 (国)
教務主任 1・2組副担任	山田 章善 (数)	1組副担任	升田 悠真 (社)	学年主任 1組・わかば副担任	山本美幸 (音・家)
		学年主任 2組・わかば副担任	山崎雅子 (美・技)	研究主任 2組副担任	福島 栄一 (理)
学年主任 3組・わかば副担任	糺元 桜児 (英)	生徒指導主事 3組副担任	渡邊 聡 (数)	3組副担任	高名 智之 (数)
わかば担任	松本 純侖			すみれ担任	下池 真平
養護教諭	橋本 理恵	事務職員	吉藤 真由美	ALT	ザング・ドゥ・グレース
学務員	宮崎 稔久	図書館司書	澤野 奈美子	教育相談員	今井 伸戸
特別支援教育支援員	能口 可苗				
スクールサポートスタッフ	溝口 郁代	学校コーディネーター	沖野 ゆかり	スクールカウンセラー	古市 俊郎
部活動指導員(陸上)	須加 敬夫	部活動指導員(吹奏楽)	岡田 正	部活動指導員(野球)	竹内 久外志

※ ゴシック体は4月より転入した職員

□ 部活動顧問のお知らせ

部活動名	顧問名	部活動名	顧問名
野球	福島・高名・竹内*	ソフトボール	山田・石垣
ソフトテニス	渡邊・上谷	バドミントン	升田・松本・糺元
卓球	政近・地藤	吹奏楽	山本・瀧本・岡田*
陸上競技	安原・北村・須加*	創作	山崎・櫻井
剣道	北野・下池		

※ 部活動指導員

□ 4月の主な行事予定

10日(水)	1、2年生 市学力調査(国・社・数・理・英)
11日(木)	全校集会、生徒会認証式、部活動紹介、2年生英語スピーキングテスト
12日(金)	授業開始、専門プロ委員会、口座振替集金日
16日(火)	生徒議会、1年生 定期面談
17日(水)	3年生 県基礎学力調査(社・理・英)
18日(木)	3年生 全国学力調査(国・数・質問紙)、2年生 定期面談
19日(金)	3年生 定期面談
24日(水)	部活動発会式、歯科検診(午前)
25日(木)	特別時間割、3年生内科検診(午後)
26日(金)	授業参観(5限)、3年生学年PTA(授業参観後)
30日(火)	避難訓練

□ ホームページにおいて、学校の様子をお知らせしています。

ホームページでは、日々の学校生活の写真を多く掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/takamj>

□ 4月より「R組（旧 相談室）」を開設します

かほく市では、令和6年4月1日からすべての小・中学校に、「教室に入れない児童生徒が、安心して落ち着ける場所を確保し、自分に合ったペースで学習・生活できる『校内教育支援センター』」を設置することになりました。本校では、既に「相談室」という名称で、対応していましたが、4月より「R組」と名称を変更し、これまで同様にお子様の状況に応じて対応してまいります。

「R組」の役割

- ・学校へ登校と、給食を食べることを通して、生活リズムの改善
- ・支援員、学年職員等とのコミュニケーションを通して、集団生活への適応を支援
- ・本人のペースに合わせた学習支援、学校行事等への参加

「R組」の利用

- ・通室にあたっては、本人、保護者、学級担任、支援員で面談を行い、「R組」での過ごし方のルールや、目標を確認した上で利用できる。（生徒自身の判断だけで、利用はできません。）

「R組」の名称の由来

- ・Relief:安心、Relationship:つながり、self-Reliance:自立 という、「R組」がめざす3つの“R”から名前をつけました。

お子様の状況に応じて、学校のできる範囲（設備の有無、教職員の配置等）で柔軟に対応していきます。ご希望やご質問等がございましたら、遠慮せず学校まで連絡ください。

（高松中学校 TEL 281-0221）

□ お知らせ

① 授業参観、PTA総会について

- ・4月26日（金）5限に、授業参観を実施します。3年生は、授業参観後に学年PTAを開催します。詳細は後日、お知らせいたします。
- ・PTA総会は、昨年同様、書面で行います。

② 学校への来校、連絡電話について

- ・学校への来校・電話連絡の時間帯を、午後7時00分までにお願いします。
- ・午後7時00分から翌7時30分は、留守番電話に切り替わります。（授業日、部活動実施日以外の日は、午後4時30分に留守番電話に切り替わります。）
- ・土、日、祝日、学校閉庁期間は、終日、留守番電話になります。

③ 部活動の「地域クラブ活動移行」及び「活動時間」について

- ・8日（月）に配布した「令和6年度から始まる『地域クラブ活動』および『合同部活動』について」に記載されているように、かほく市中学校の「休日の部活動」については、今年度から令和7年度末までに地域クラブ活動への移行が完了するように進められています、今年度はバスケットボール、ソフトテニス、軟式野球の3競技において移行が始まります。
- ・本校部活動の活動時間等について
 - －平日2時間、休日3時間（国のガイドラインに沿った活動時間）
 - －平日の完全下校（生徒が校地外へ出る時刻）午後6時（1年を通して同一）
 - －休養日は原則水曜日・日曜日の週2日
 - －今年度より3年生が最後の大会を終え、2年生主体の新体制に移行した時点から、平日の休養日を1日増やし、平日2日、休日1日の週3日が休養日になります。

休日・平日の地域クラブ活動への移行が進むように、かほく市教育委員会と市内3中学校が歩調を合わせて進めています。何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。